DAINICHI

ハイブリッド式加湿器（家庭用）

［温風気化/気化式］

エイチ　ディー

HD-5010
HD-7010

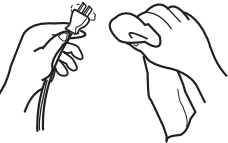
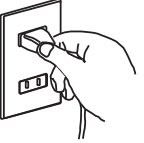
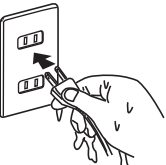
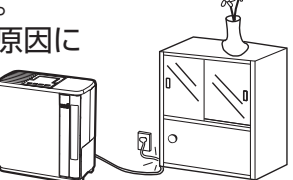
取扱説明書

＜保証書付＞裏表紙に付いています

目　次

製品アンケートへのご協力をお願いします
（ご回答はインターネットのみとなります）
回答専用アドレス
http://www.dainichi-net.co.jp/hagaki/
※通信料はお客様のご負担となります。

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。
裏表紙の保証書は、「お買い上げ日・製造番号・販売店」などの記入をお確かめください。

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の２段階に区分しています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

⚠警告(WARNING)

分解・修理・改造の禁止
お客様自身による分解・修理・改造は絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。

水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。

交流100V以外での使用やタコ足配線をしない
タコ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因になります。

本体に異物を入れない
吹出口や吸気グリルにピンや針金などの異物を入れないでください。
感電やけがの原因になります。

異常時(水漏れ、コゲくさい臭いなど)は運転を停止して電源プラグを抜く
異常のまま使用を続けると火災・感電の原因になります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
やけど・けが・感電の原因になります。

運転停止直後(約１分間)は、ヒータ周辺に触れない
やけど・けが・感電の原因になります。

本体のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使わない
有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。

お手入れする際は、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。

⚠警告(WARNING)

電源プラグのお手入れをする
ときどきは電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む
電源プラグは根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電やけがの原因になります。

電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、重いものをのせたり、束ねたり、曲げたまま使用しないでください。
火災・感電の原因になります。

⚠注意(CAUTION)

使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
火災・感電の原因になります。

加湿された風が家具・壁・カーテンなどに直接あたるところには置かない
しみが付いたり、変形するおそれがあります。

タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、本体内部は常に清潔に保つよう定期的にお手入れする
お手入れせずに使用を続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。
体質によっては、過敏に反応し健康を損なう原因になります。

暖房機・テレビなどの電化製品の上に置かない
転倒すると水がこぼれ、火災・感電の原因になります。

水道水以外は使用しない
40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤(アロマオイルなど)・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などを使用するとカビや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・割れ(水漏れ)・故障の原因になります。

不安定な場所に置いたり、傾けて使用しない
水がこぼれ、火災・感電の原因になります。

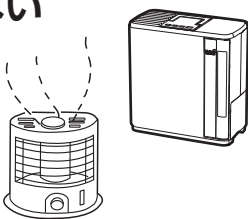
吸気グリル・除菌フィルターを外したまま使用しない
性能が発揮されず、故障の原因になります。

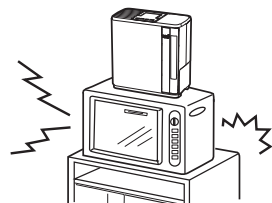
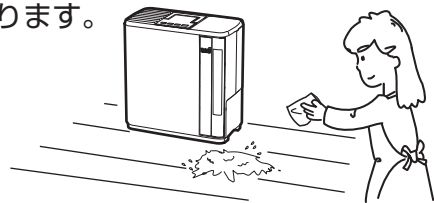
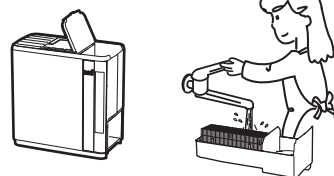
ご使用前 安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください

お願い(NOTICE)

吹出口や吸気グリルをふさがない
吹出口や吸気グリルをふさぐと変形や故障の原因になります。

直射日光のあたるところや暖房器具の上や近くに置かない
タンク内の空気が膨張し、水があふれたり、プラスチック部分が変形・変質するおそれがあります。

こまめにお手入れする
お手入れせずに使用を続けると、本体内部に水アカなどが付着してとれにくくなり、誤動作や故障の原因になります。

電磁調理器やスピーカーの近くなど磁気の多いところには置かない
正常に作動しないときがあります。

本体下部や床を時々清掃する
水がこぼれたまま放置すると、床を傷めるおそれがあります。

本体内部には直接水を入れない
トレイに直接水を入れたりしないでください。故障の原因になります。

使用しないときは水を捨てる
長期間使用しないときは、タンク・トレイ内の水を捨ててください。水を入れたまま放置すると、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。

タンクを入れたまま移動しない
移動するときは、必ずタンクを取り出し、取っ手を持って、傾けないように静かに運んでください。水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。

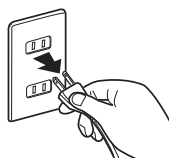
水漏れ確認
タンクキャップは確実に閉めてください。タンクキャップを下にして水漏れがないことを確かめてください。また、タンクを落としたときは、タンクの破損による水漏れがないことを確かめてください。
水漏れがあるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。22ページ

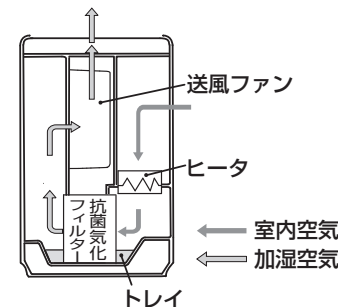
凍結のおそれがあるときは、タンクとトレイの水を捨てる
凍結したまま使用すると、故障の原因になります。

湿度の高いところ(85%以上)では使用しない
故障の原因になります。

トレイ内の水を飲まない・飲ませない
体調不良の原因になります。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く
長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

抗菌気化フィルターを外したまま使用しない
故障の原因になります。

特長

1 ハイブリッド式(温風気化/気化式)
ハイブリッド式は、水を含んだ抗菌気化フィルターに風をあてて加湿する「気化式」と、温風をあてて加湿する「温風気化式」を組み合わせた方式です。
湿度が低いときは、「温風気化式」ですばやく加湿し、設定湿度に近づくと温風を使わない「気化式」に切り換え加湿量を調整します。
「温風気化式」でも、温風は抗菌気化フィルターで水が気化するときには熱が奪われるので、吹出口より吹き出す風は、暖かくありません。

2 静音設計
運転音を抑えていますので、就寝時にも快適にご使用いただけます。

3 抗菌気化フィルターは３シーズン使用可能
カビ・雑菌の繁殖を抑える抗菌気化フィルターは、月に１回クエン酸洗浄を行うと３シーズン(クエン酸洗浄なしでは１シーズン)使用できます。17ページ 20ページ

4 お好みに合わせて選べる運転モード
①標　　準：お好みの湿度設定に合わせて加湿したいときにおすすめします。
②省 エ ネ：消費電力を抑えて加湿したいときにおすすめします。
③静　　音：運転音を抑えて加湿したいときにおすすめします。
④サラリ加湿：お部屋の結露を抑えて加湿したいときにおすすめします。
⑤のど･肌加湿：乾燥時に「のど･肌」のうるおいを守る湿度で加湿したいときにおすすめします。

5 温湿度センサーによる自動運転
①お部屋の湿度を素早く感知し、湿度に合わせて自動的に加湿量を調節します。
②運転停止中でも湿度表示を行い、加湿する目安をお知らせすることができます。8ページ

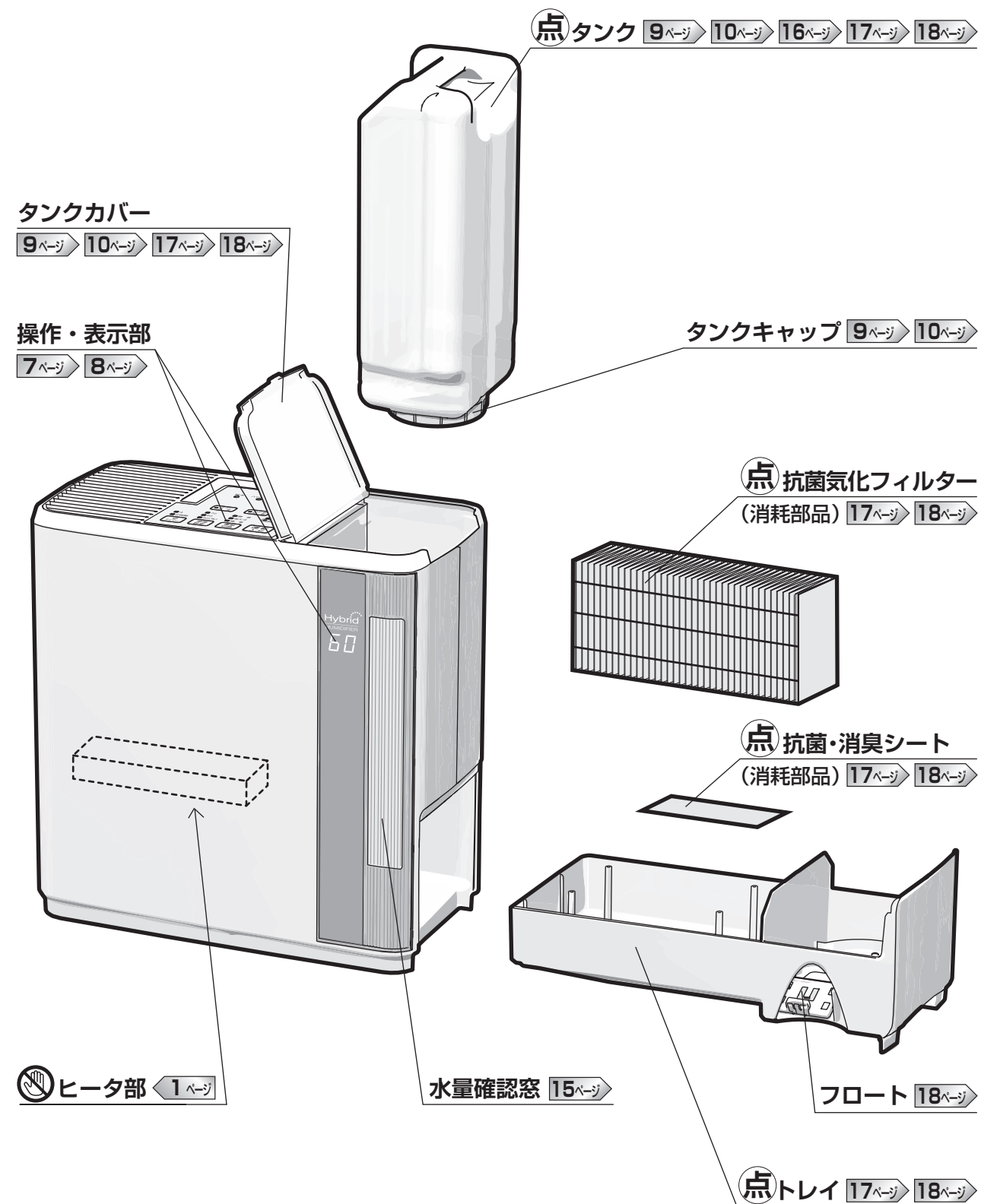
6 トリプル除菌機能搭載
①抗菌･消臭シートがトレイ内のカビ・雑菌の繁殖を抑え、きれいな水でお部屋を加湿します。
②アレルバリアフィルターと除菌フィルターがお部屋の空気から捕らえた雑菌・アレル物質の繁殖や活動を抑えます。
③抗菌気化フィルターがトレイ内のカビ・雑菌の繁殖を抑えます。

7 蒸気や霧は見えません
抗菌気化フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す加湿方式のため、スチームファン式や超音波式のように蒸気や霧は見えません(風は暖かくありません)。

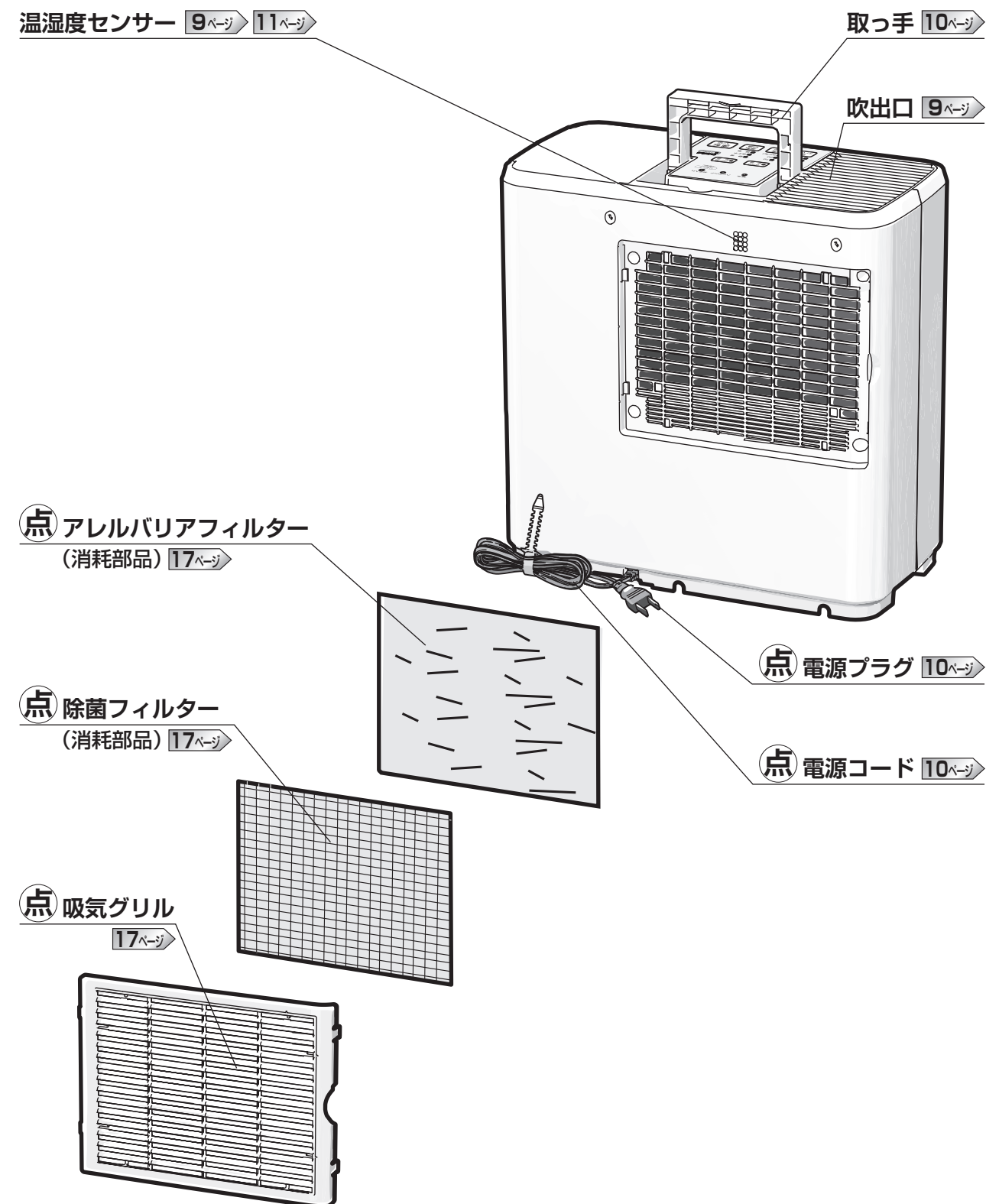
加湿量について
室内の湿度や温度の条件により加湿量は変わります。
次のときには加湿量が少なくなります。
○雨の日など、湿度が高いとき
○室内の温度が低いとき

各部のなまえ

外観図

前面

運転中高温になる部分（ご注意ください）

点 点検・手入れが必要な部分

背面

※外観図は機種により若干異なります。

各部のなまえ

操作・表示部

上面部

ハイブリッドサイン(緑) 11ページ
○加湿運転中に点灯(温風気化式時のみ)

給水サイン(赤) 11ページ
○タンクの水がなくなると点滅

サラリ加湿ボタン 13ページ
○サラリ加湿モードに設定する
サラリ加湿ランプ(緑) 13ページ
○設定したとき点灯

お手入れリセットボタン 16ページ
○お手入れサインの解除を行う
お手入れサイン(赤) 16ページ
○お手入れ時期に点滅

のど・肌加湿ボタン 13ページ
○のど・肌加湿モードに設定する
のど・肌加湿ランプ(緑) 13ページ
○設定したときに点灯

給水　ハイブリッド　お手入れ
リセット 3秒押し
サラリ 加湿　のど・肌 加湿
チャイルドロック 3秒押し
4　2時間　70　60　50(%)　静音　省エネ　標準
切 タイマー　湿度 設定　運転 切換　運転 入/切

切タイマーボタン 15ページ
○切タイマー時間を設定する
切タイマーランプ(緑) 15ページ
○運転残り時間が点灯

湿度設定ボタン 8ページ 14ページ
○湿度を設定する
○運転停止中に現在湿度表示を設定する
湿度設定ランプ(赤) 14ページ
○設定した湿度が点灯

運転 入/切スイッチ 11ページ 12ページ
○運転の入・切を行う
○給水サインの解除を行う

チャイルドロックボタン 12ページ
○チャイルドロックを設定する
チャイルドロックランプ(緑)
○セットしたとき点灯 12ページ

運転切換ボタン 13ページ
○運転モードの切換を行う
運転モードランプ(緑) 13ページ
○設定した運転モードが点灯

前面部

現在湿度表示 11ページ 12ページ 15ページ
○現在のお部屋の湿度を1%刻みで表示
(運転停止中は、現在湿度を表示しません。運転停止中に現在湿度表示をしたいときは、下記に従ってください。)
○運転開始から約2分間は、次のような表示をします

エラー表示 20ページ
○何らかの異常のときにエラー番号を表示

運転停止中の現在湿度表示のしかた

運転停止中でも現在湿度を表示することができます。

運転停止中に

をピッピッと鳴るまで3秒間押す

○一定の間隔で送風ファンが回ります。

運転停止中の現在湿度表示を消すには

運転停止中に

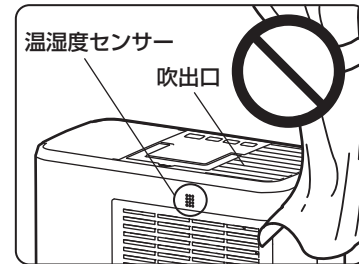
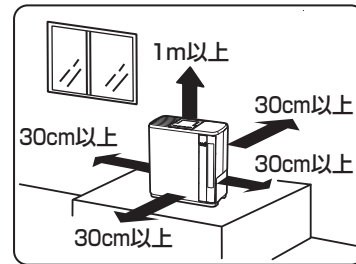
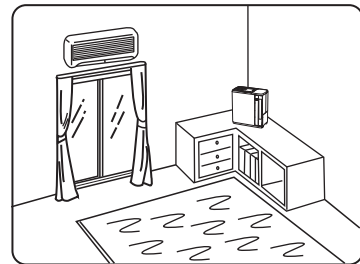
Hybrid
HUMIDIFIER

をピッと鳴るまで3秒間押す

使用する場所・使用前の準備

効果的に加湿するために

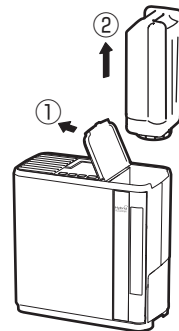
設置場所

- 直射日光やエアコン・暖房機の温風があたらないところに設置してください。また、冷気の影響を受けやすい窓際から離して設置してください。
- 設置状況の影響により正しい湿度を表示しないことがあります。部屋の空気の循環をよくして使用してください。
- 水平で丈夫な場所に設置してください。
- 図の範囲内に物を置かないでください。
- カーテンなどが吹出口や背面の温湿度センサー部をふさがないように設置してください。

使用条件(室温と湿度)

- 室内温度は0～40℃、湿度は20～85%で使用してください。

運転開始前の準備

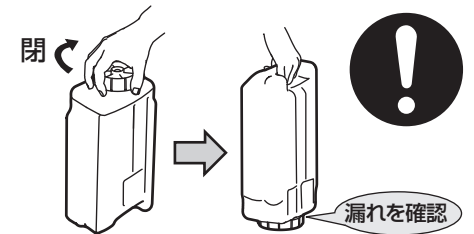
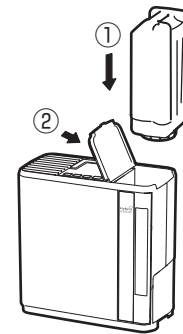
タンクに給水する

1 タンクカバーを開け、タンクを取り出す

2 タンクキャップを外す

- 外したタンクキャップにごみ・糸くず・ほこりなど付着しないように注意してください。

3 タンクを振り洗いしてから、水道水を口元までゆっくり給水する

4 タンクキャップを確実に閉める

- タンクについた水は完全にふき取ってください。
- タンクキャップを下にしたとき水漏れがないことを確認してください。
  ※漏れているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。22ページ

5 タンクを本体にセットし、タンクカバーを閉める

移動するとき

- 必ずタンクを取り出してから、取っ手を持って、傾けないように静かに運んでください。
  水がこぼれて周囲をぬらすおそれがあります。

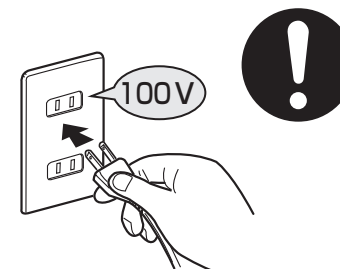
メモ

- タンクをセットして、初めてご使用のときに抗菌気化フィルターの顔料が色落ちすることがありますが、異常ではありません。また、顔料は無害で人体には影響ありません。
  気になる方は抗菌気化フィルターを水洗いしてください。

お守りください

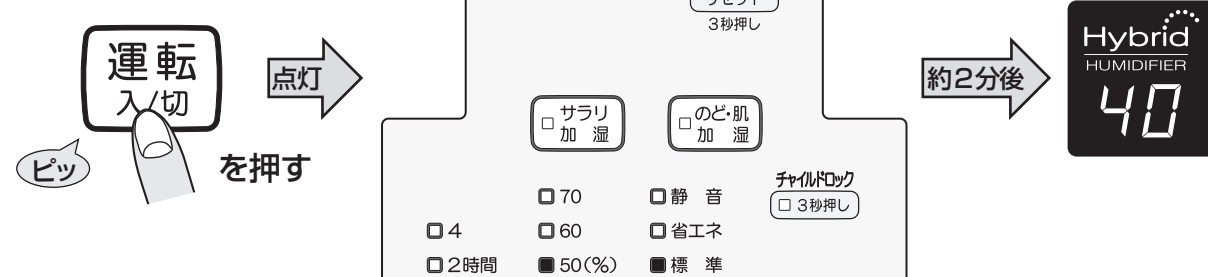
- 40℃以上のお湯や化学薬品・芳香剤(アロマオイルなど)・汚れた水などは使用しないでください。変形や故障の原因になります。
- ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは入れないでください。カビや雑菌が繁殖しやすくなり故障の原因になります。

電源コードを接続する

電源プラグをコンセント(100V)に差し込む。

お守りください

- 家庭用電源以外では使用しないでください。
  動作異常や予想しない事故の原因になります。
- 200V電源には絶対に差し込まないでください。
  火災、感電、故障の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。
  火災の原因になります。

運転を開始するとき

運転 入/切スイッチを押す
運転停止中に

○運転を開始し、約2分後に現在湿度を表示します。8ページ

＜加湿運転中の表示と動き＞

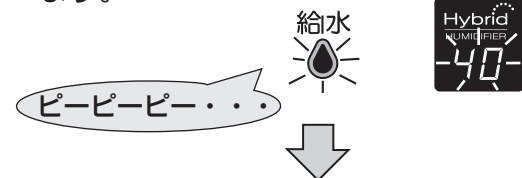
	加湿方式	ハイブリッドサイン	送風ファン
加湿中	温風気化式	点灯	回転
	気化式	消灯	回転
加湿停止中		消灯	停止

※十分な加湿が得られているときは、加湿を停止する場合があります。
※室内温度が高いときや低いときは、現在湿度が設定湿度よりも低いときでも、温風気化式で運転をしないときがあります。そのときは、ハイブリッドサイン(緑)は点灯しません。

現在湿度表示について

湿度表示は目安としてお使いください。
○本体内部の温湿度センサーで検知した湿度を表示します(表示湿度は、30～80%)。
○湿度が30%以下のときは、現在湿度は"30"を表示します。
○運転を開始してから安定するまで約5分間かかります。また、急激な温度変化や設置状況などの影響により正しい湿度表示をしないことがあります。
○現在湿度表示と他の湿度計の表示は、加湿器の設置状況や湿度計の種類により、一致しないことがあります。
(湿度計には大きく分け「バイメタル式(針表示式)」と「電気式(デジタル式…本加湿器採用)」の2つの方式があります。方式により検知速度が違うため、同じ場所に置いても湿度表示に差が出る場合があります。詳しくは弊社ホームページでご覧いただけます。裏表紙)

給水の合図

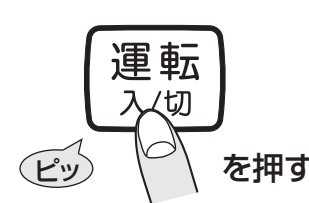
1. 加湿運転中にタンクの水がなくなると給水サイン(赤)の点滅と10回のブザー音でお知らせします。同時に現在湿度表示も点滅します。

○約50秒間送風後、停止します。
※給水サイン(赤)が点滅したときにタンクの中に少量の水が残っていることがありますが、異常ではありません。

2. 運転 入/切スイッチを押してください。
○給水サイン(赤)と現在湿度表示が消灯します。

3. タンクに水を入れ、本体にセットしてから再度、運転 入/切スイッチを押すと運転を開始し、約2分後に現在湿度を表示します。

○タンクを入れてからトレイや抗菌気化フィルターに水が行きわたるまでに1～2分かかります。
○初めてご使用のときは、ヒータ(ニクロム線)が発熱した際に、吹出口から防錆油の焼ける臭いがすることがありますが、人体には影響ありません。しばらくの間、お部屋の換気をしながらご使用ください。1時間ほどでおさまります。

運転を停止するとき

運転 入/切スイッチを押す
運転中に

○すべてのランプと現在湿度表示が消灯します。
(現在湿度表示を表示するには・・・8ページ)
○約50秒間送風後、停止します。

メモ

○本体が転倒したときは、「ピーピーピーピー」とブザー音が鳴り、運転を停止して、エラー表示"E1"が点滅します。このとき送風ファンは回りません。20ページ
○運転停止中に現在湿度表示を行うと、お部屋の湿度を検知するため一定の間隔でファンが回りますが異常ではありません。気になる方は現在湿度表示を消してください。8ページ

お守りください

○運転を停止しても、運転停止後約50秒間は本体内を冷やすため送風ファンが回っていますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。電源プラグを抜いて運転を停止したり、運転停止後すぐに電源プラグをコンセントから抜くと、故障の原因になります。

チャイルドロックを使用するとき

小さいお子さまのいたずら操作を防止したいときにお使いください。
運転中、運転停止中のどちらでもセット・解除できます。

チャイルドロックをセットする

○チャイルドロックランプ(緑)が点灯します。
(チャイルドロックの解除以外は、操作ができなくなります)

チャイルドロックを解除する

○チャイルドロックランプ(緑)が消灯します。

メモ

○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、チャイルドロックが解除されます。再度、セットしてください。

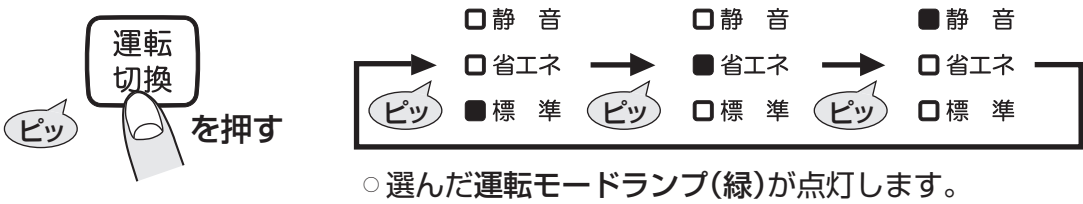
運転切換をするとき

お好みの運転モードに設定してください

標　　準：湿度設定に合わせて自動で加湿量を調整し、運転します。
省 エ ネ：消費電力を抑えながら自動で加湿量を調整し、運転します。
静　　音：風量を弱めて自動で加湿量を調整し、運転します。
（「省エネ」と「静音」モードは、最大加湿量が少なくなり、お部屋の広さや条件によっては設定湿度に達するまでの時間が長くなることがあります）
サラリ加湿：お部屋の状況により結露が発生しにくい湿度に自動で加湿量を調整し、運転します。
のど･肌加湿：冬場の乾燥時などに、「のど･肌」のうるおいを守る湿度に自動で加湿量を調整し、運転します。

運転切換ボタンを押すごとに運転モードが切り換わります

加湿運転中に

○選んだ運転モードランプ(緑)が点灯します。

サラリ加湿にしたいとき

サラリ加湿ボタンを押すと、「サラリ加湿」モードに切り換わります。

運転中に

を押す

○サラリ加湿ランプ(緑)が点灯します。
○結露が起こりにくい湿度に自動でコントロールして加湿します。解除後は、運転切換のいずれかのモード(標準・省エネ・静音)に戻ります。

解除するとき

サラリ加湿運転中に

を押す

○サラリ加湿ランプ(緑)が消灯します。

のど･肌加湿にしたいとき

のど･肌加湿ボタンを押すと、「のど･肌加湿」モードに切り換わります。

運転中に

を押す

○のど･肌加湿ランプ(緑)が点灯します。
○のど･肌のうるおいを守る湿度に自動でコントロールして加湿します。解除後は、運転切換のいずれかのモード(標準・省エネ・静音)に戻ります。

解除するとき

のど･肌加湿運転中に

を押す

○のど･肌加湿ランプ(緑)が消灯します。

メモ

○初めてご使用のときや、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、「標準」運転モードになります。運転モードを変えたいときは再度、設定してください。
○「**サラリ加湿**」、「**のど･肌加湿**」モードで運転するときは、運転モードランプ(緑)が消灯します。14ページ
○運転モードを「**サラリ加湿**」にしても、お部屋の状況により、結露が発生するときがあります。結露が気になるときは、運転切換のいずれかのモード(標準・省エネ・静音)で湿度設定を「**50%**」に設定してください。

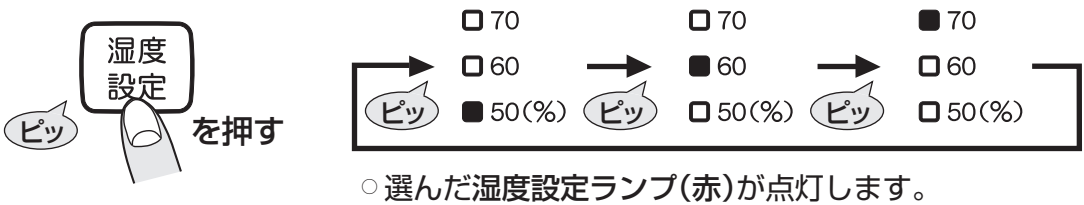
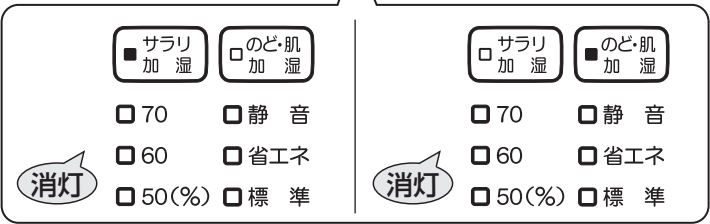
湿度設定をするとき

お好みの湿度に設定してください

湿度設定ボタンを押すごとに設定湿度が切り換わります

加湿運転中に

湿度
設定
ピッ
を押す

○選んだ湿度設定ランプ(赤)が点灯します。

※「**サラリ加湿**」、「**のど･肌加湿**」モードのときは、湿度設定はできません。

メモ

○初めてご使用のときは、湿度設定は「**50%**」に設定されています。
○湿度設定を選ぶ目安としては、就寝時や室内の結露が気になるときは「**50%**」、乾燥が気になるときは「**60%**」、または「**70%**」に設定してください。

切タイマー運転を使用するとき

切タイマー運転をセットする

一定時間で運転を終わらせたいとき

４時間、２時間の設定ができます。

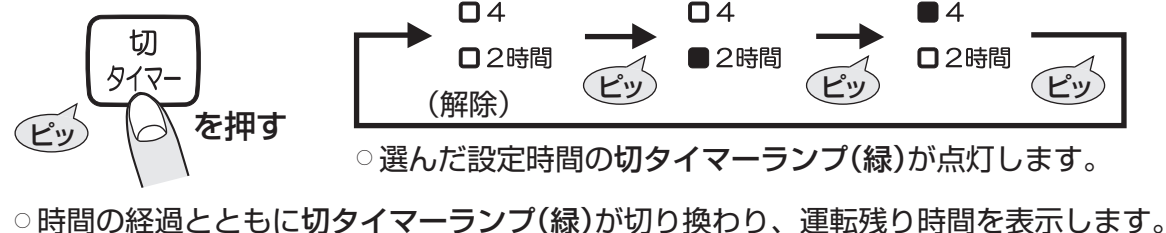
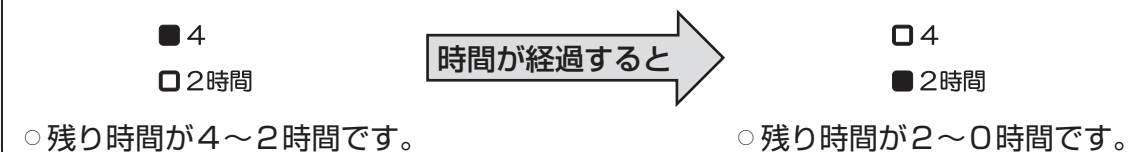
1 切タイマーボタンを押すごとに設定時間が切り換わります

運転中に

○選んだ設定時間の切タイマーランプ（緑）が点灯します。

○時間の経過とともに切タイマーランプ（緑）が切り換わり、運転残り時間を表示します。

運転残り時間の表示について

○残り時間が４～２時間です。　○残り時間が２～０時間です。

2 設定時間が経過すると、自動的に運転を停止します

○すべてのランプと現在湿度表示が消灯します（現在湿度表示を表示するには・・・8ページ）。

○約50秒間送風後、停止します。

メモ

○設定後に切タイマー時間を変えたいときは、もう１度 **1** を行なってください。新たに合わせた時間から切タイマーが作動します。

○切タイマー運転を設定するときは、タンクの水量を確認してください。水量が少ないとタイマーが切れる前に水がなくなり、給水サイン（赤）が点滅して運転を停止します。

切タイマー運転を解除する

切タイマーボタンを切タイマーランプ（緑）が消灯（解除）するまで押す

切タイマー運転中に

メモ

○切タイマー運転で停止したときは、切タイマーボタンを押しても運転は再開しません。再度、運転 入/切スイッチを入れてください。

お手入れサインが点滅したとき

お手入れ時期の目安をお手入れサイン（赤）が点滅してお知らせします

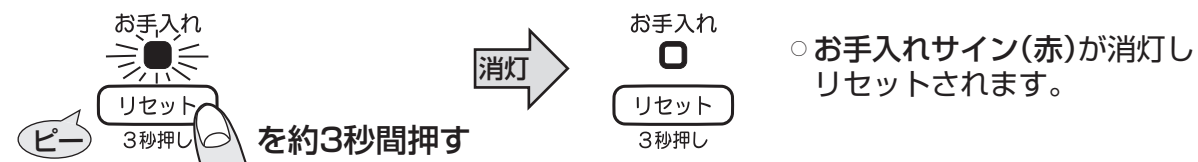
運転時間にかかわらず、電源プラグをコンセントに差し込んでから２週間後に、お手入れサイン（赤）が点滅します。運転を停止させお手入れをしてください。

1 抗菌気化フィルター、抗菌・消臭シート、トレイのお手入れをする

お手入れのしかたは、17ページ「お手入れサインが点滅したとき」に従ってください。

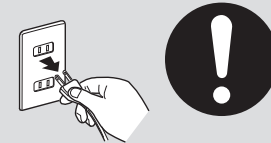
2 お手入れリセットボタンを押し、お手入れサイン（赤）を解除する

お手入れが終了したら

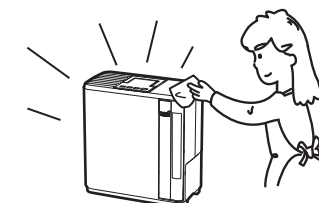
○お手入れサイン（赤）が消灯しリセットされます。

お手入れのしかた

お守りください

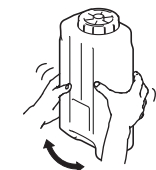
○点検・お手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、送風ファンが停止したことを確認後、電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。また、分解はしないでください。感電・発火・故障の原因になります。

○お手入れせずに使用を続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。定期的にお手入れを行なってください。

ご使用のたびに

本体のごみやほこりをふき取る

○柔らかい布でからぶきするか、水でうすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいてください。

○変質や変色防止のため、ベンジン・シンナー・アルコール・アルカリ洗剤・漂白剤などは、使用しないでください。また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。

タンク内をきれいにする

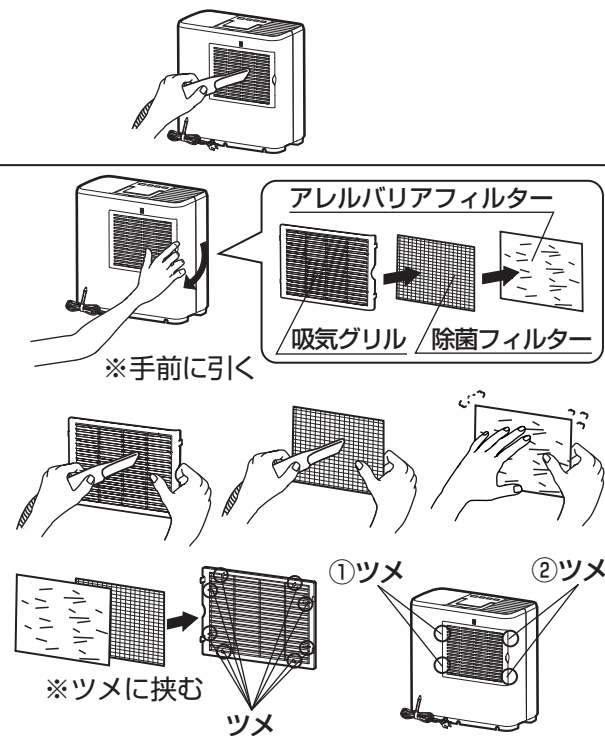
○タンク内の水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。
タンク内の水を捨て、きれいな水を少し入れ、振り洗いしてください。

お手入れのしかた

週に1回程度

吸気グリルのお手入れをする

掃除機などで吸気グリルのほこりを取る。

吸気グリルの汚れがひどいとき

1. 吸気グリルを外し、除菌フィルター・アレルバリアフィルターを取り外す。
2. 吸気グリル、除菌フィルターは掃除機などでほこりを取る。アレルバリアフィルターは手でたたき、ほこりを取る。
※アレルバリアフィルターは掃除機を使用しないでください。
3. 吸気グリルに除菌フィルター、アレルバリアフィルターの順に取り付ける。
※アレルバリアフィルター、除菌フィルターは吸気グリルツメ(8箇所)に挟むように取り付ける。
4. 吸気グリルは外したときと逆の手順で本体に取り付ける。
※吸気グリルは①のツメ(2箇所)を本体の穴に差し込んでから②のツメ(2箇所)を差し込む。

お守りください

○ 吸気グリルの汚れがひどくなると雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になりますので、こまめにお手入れしてください。

お手入れサインが点滅したとき

抗菌気化フィルター、抗菌･消臭シート、トレイのお手入れをする

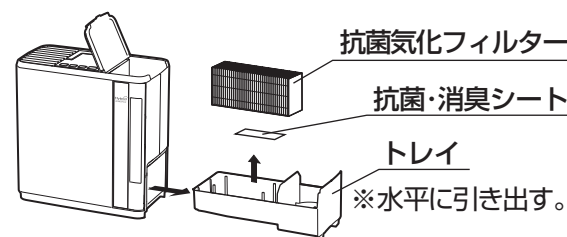
抗菌気化フィルターやトレイに水アカが付着します。水アカは水道水に含まれるミネラル分が気化せずに残ったものです。お手入れせずに使用を続けると固まって取れにくくなり、カビや雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になりますので必ずお手入れしてください。

1 タンクカバーを開け、タンクを取り出す

2 トレイを本体から引き出す

3 トレイから抗菌気化フィルター、抗菌･消臭シートを取り出し、お手入れする

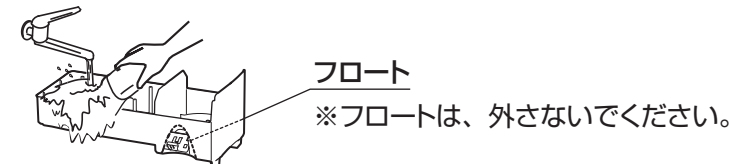
抗菌気化フィルター
抗菌･消臭シート
トレイ
※水平に引き出す。

<抗菌気化フィルター>

お手入れのたびに	お手入れの2回に1回(1カ月に1回程度)は
○ 水洗い後、柔らかい布で汚れをふく。 ○ 吹き出す風が臭ったときは当社指定の洗剤で洗浄する。	○ クエン酸で洗浄する。

※洗浄のしかたは、18ページ「抗菌気化フイルターの洗浄のしかた」に従ってください。

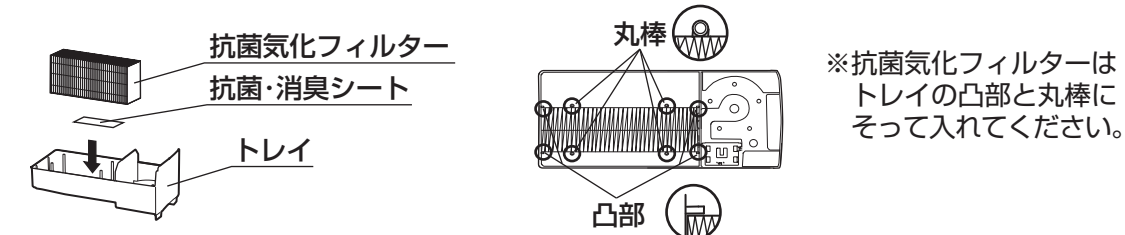
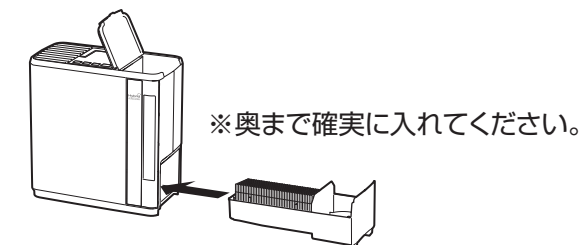
<抗菌･消臭シート>

○ 軽くすすぐ程度に水洗いする。

4 トレイの水を捨て、トレイをスポンジなどで水洗いする

5 抗菌･消臭シート、抗菌気化フィルターの順にトレイに取り付ける

※抗菌気化フィルターはトレイの凸部と丸棒にそって入れてください。

6 トレイを本体にセットする

※奥まで確実に入れてください。

7 タンクを本体にセットし、タンクカバーを閉める

8 お手入れサイン(赤)を解除する 16ページ

抗菌気化フィルターの洗浄のしかた

1. ぬるま湯(40℃以下)にクエン酸、または指定の洗剤を溶かし、抗菌気化フィルターを浸ける。

用　途	洗浄剤	使用量	浸け置き時間
定期的に水アカを取るとき	クエン酸	1.5Lあたり約10g(大さじ１杯)※1	約30分～2時間※2
吹き出す風が臭ったとき	当社指定の洗剤(粉末)※3「花王:ワイドマジックリン®」	1.5Lあたり約13.5g(大さじ１杯半)	約60分

○ クエン酸と指定の洗剤を一緒に入れないでください。

※1 濃度が高いと部品破損の原因になります。
※2 水アカが取れにくいときは、浸け置き時間を長く(最長2時間)してください。
※3「ワイドマジックリン®」は、花王株式会社の登録商標です。

2. 新しい水でしっかりすすぎ洗いする。

※クエン酸や洗剤の成分が残ると、臭いの発生や故障の原因になります。
※抗菌気化フィルターを外したまま機器を使用しないでください。

メモ

○ 抗菌気化フィルターはクエン酸洗浄しないで使用を続けると寿命が１シーズンと短くなります。(１シーズン６カ月、１日８時間運転、水道水の硬度 50mg/L(全国平均値)の場合) 20ページ
○ クエン酸は薬局・薬店・ホームセンター・インターネットなどでお買い求めください。 22ページ
○ クエン酸は食品添加物で食品衛生上は無害ですが、幼児の手の届かないところで保管してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前に１度ご確認ください。

症　状	原　因	処　置　方　法
給水サイン(赤)と現在湿度表示が点滅している	タンクの水がなくなった。	タンクに給水してください。9ページ 11ページ
タンクに水が入っているのに給水サイン(赤)が点滅する	本体が傾いている。	水平な場所に設置してください。9ページ
	トレイが確実に本体に入っていない。	トレイを確実に本体に入れてください。18ページ
	フロートが引っ掛かっている。	フロート周辺のごみを取り除いてください。18ページ
	運転 入/切スイッチを押し直していない。	運転 入/切スイッチを押し直してください。11ページ
蒸気が見えない	本製品は抗菌気化フィルターに風をあてて湿った空気を送り出す方式のため、蒸気や霧は見えません。	異常ではありません。4ページ
運転しない	チャイルドロックがセットされている。	チャイルドロックを解除する。12ページ
	給水サイン(赤)が点滅している。	タンクに給水してください。9ページ 11ページ
運転中なのに風が出ない(加湿しない)	お部屋の湿度が設定した湿度以上になっているため、加湿を止めています。	異常ではありません。11ページ
風は出ているのに、タンクの水が減らない、または風の出が少ない	吸気グリルにほこりが付着している。	吸気グリルのお手入れをしてください。17ページ
	抗菌気化フィルターに水アカやごみが付着している。	抗菌気化フィルターのお手入れをしてください。17ページ 18ページ
風が冷たい	水が気化するとき熱が奪われるので、風は暖かくありません。	異常ではありません。4ページ
ハイブリッドサイン(緑)が点灯しない	設定湿度に達している。	異常ではありません。11ページ
	室内温度が高い、または低い。	
	「省エネ」モードになっている。	
現在湿度が設定湿度より高い、または現在湿度表示が70%以下にならない	設置状況によっては現在湿度が設定湿度より高くなることがあります。	設置場所をご確認ください。9ページ
		十分な加湿が得られているときは、運転を停止してください。11ページ
加湿器の現在湿度表示と他の湿度計の表示が一致しない	現在湿度表示は、加湿器の設置状況や湿度計の種類により異なります。	設置場所をご確認ください。9ページ
		現在湿度表示は、目安としてお使いください。11ページ
運転切換ができない 切タイマー運転ができない	給水サイン(赤)が点滅している。	タンクに給水してください。9ページ 11ページ
湿度が上がらない	部屋が広すぎる。	適用床面積の範囲でお使いください。21ページ
	「省エネ」、「静音」、「サラリ加湿」モードになっている。	「標準」、「のど･肌加湿」モードでお使いください。13ページ 14ページ
	窓や戸が開いている。	窓や戸を閉めてお使いください。
運転停止中に送風ファンが回っている	お部屋の湿度を検知するため一定間隔で送風ファンが回ります。	異常ではありません。気になる方は、現在湿度表示を消してください。8ページ
音がする	「ボコボコ」という音はタンクからトレイに水が供給されるとき、タンクの中に空気が入る音です。	異常ではありません。
	「ブーン」、「ジー」という音は、送風ファンが動いている音です。	異常ではありません。いつもより音が大きいときは、吸気グリル、抗菌気化フィルターのお手入れをしてください。17ページ 18ページ
臭いが出る	抗菌気化フィルター、吸気グリル、トレイが汚れている。	抗菌気化フィルター、吸気グリル、トレイのお手入れをしてください。17ページ 18ページ
トレイ内の水に色がついている	抗菌気化フィルターの顔料が色落ちしたものです。(初めて使用したときだけです)	異常ではありません。また、人体には影響ありません。気になる方は、抗菌気化フィルターを水洗いしてください。10ページ

異常の原因と処置のしかた

次のようなエラー表示が現れたときは、適切な処置を行なってください

表示部(エラー表示)	原　因	処　置　方　法
E 1　点滅	本体を傾けたり、転倒したため自動停止した。**(転倒自動停止装置が作動)**	水平な場所に設置し、こぼれた水をふき、本体が乾いてから運転 入/切スイッチを押し直してください。9ページ 12ページ
E2　E3　点滅	室温異常(0℃以下、または40℃以上)になったため自動停止した。**(室温異常自動停止装置が作動)**	設置方法を確かめ、運転 入/切スイッチを押し直してください。9ページ
F1 F2 F3 F4 F8 FC　点灯	点検・修理が必要な故障です。	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。22ページ

処置を行なっても直らないとき、上記以外のエラー表示がでたとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。22ページ
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

消耗部品の交換について

交換の目安

- 抗菌気化フィルターは、3シーズンを目安に新しいもの(別売部品)と交換してください(1シーズン6カ月、1日8時間運転、水道水の硬度50mg/L(全国平均)、月に1回クエン酸洗浄した場合)。クエン酸洗浄なしでは1シーズンです。22ページ
なお、水道水の硬度の違いにより寿命が短くなる場合があります。
また、3シーズン以内でも汚れや水アカが落ちなくなったり、傷みや型くずれがひどいときは交換してください。交換せずに使用を続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。
- アレルバリアフィルター、除菌フィルター、抗菌･消臭シートは、汚れや水アカが落ちなくなったら交換をおすすめします。交換せずに使用を続けると、カビや雑菌が繁殖し悪臭が発生したり、加湿量の低下や送風音が大きくなる原因になります。17ページ 18ページ

保管と廃棄のしかた

保管するとき(長期間使用しないとき)

1. 「お手入れのしかた」に従ってお手入れしてください。終了後再度、電源プラグをコンセントに差し込み、**お手入れリセットボタン**を「ピー」と鳴るまで(約3秒間)押し、リセットしてください。16ページ
2. 抗菌気化フィルターなどお手入れした部品を十分に乾かしてから、お買い上げ時の包装箱に入れるか、ポリ袋などで包み、湿気の少ないところに保管してください。
また、本体を傾けたり、横倒しの状態にしないでください。

廃棄するとき

本体・消耗部品を廃棄するときは、各自治体の指示に従って廃棄してください。

消耗部品の材質
- 抗菌気化フィルター・・・・・・プラスチック(PE)
- 抗菌･消臭シート・・・紙
- アレルバリアフィルター・・・プラスチック(PE)
- 除菌フィルター・・・・プラスチック(PP)

定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店などに点検依頼をおすすめします(有料)。

愛情点検 長年ご使用の加湿器の点検を！

こんな症状はありませんか	・水漏れする。 ・本体が異常に熱い。 ・電源コードに触れると通電したり、しなかったりする。 ・運転中に異常な音がする。 ・その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

仕　様

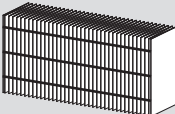
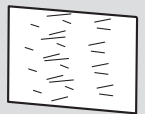
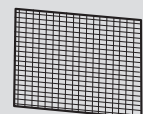
型　名		HD-5010				
電源電圧及び周波数		AC100 V　50/60 Hz				
加湿運転		標　準	省エネ	静　音	サラリ加湿	のど·肌加湿
消費電力(最大)		168/168 W	25/25 W	161/161 W	161/161 W	168/168 W
加湿量(最大)※1		500 mL/h	365 mL/h	375 mL/h	375 mL/h	500 mL/h
連続加湿時間※1		約8.0 時間	約11.0 時間	約10.7 時間	約10.7 時間	約8.0 時間
運転音	最大	31 dB	31 dB	20 dB	20 dB	31 dB
	最小※2	15 dB	15 dB	15 dB	15 dB	20 dB
タンク容量		4.0 L				
適用床面積	木造和室	14 m²(8.5 畳)				
	プレハブ洋室	23 m²(14 畳)				
外形寸法(高さ×幅×奥行)		375 mm×375 mm×190 mm				
質量		約4.6 kg				
電源コードの長さ		2.0 m				
安全装置		転倒自動停止装置、室温異常自動停止装置				

型　名		HD-7010				
電源電圧及び周波数		AC100 V　50/60 Hz				
加湿運転		標　準	省エネ	静　音	サラリ加湿	のど·肌加湿
消費電力(最大)		285/285 W	14/18 W	280/280 W	280/280 W	285/285W
加湿量(最大)※1		700 mL/h	460 mL/h	600 mL/h	600 mL/h	700 mL/h
連続加湿時間※1		約6.7 時間	約10.2 時間	約7.8 時間	約7.8 時間	約6.7 時間
運転音	最大	34 dB	34 dB	27 dB	27 dB	34 dB
	最小※2	15 dB	15 dB	15 dB	15 dB	27 dB
タンク容量		4.7 L				
適用床面積	木造和室	20 m²(12 畳)				
	プレハブ洋室	32 m²(19 畳)				
外形寸法(高さ×幅×奥行)		375 mm×375 mm×210 mm				
質量		約5.3 kg				
電源コードの長さ		2.0 m				
安全装置		転倒自動停止装置、室温異常自動停止装置				

※1 加湿量は室温20℃・湿度30%の条件のときです。
※2 最小運転音は湿度50%設定時のときです。

部品のご注文について

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型名・部品名・商品コードをはっきりとお伝えください。また、インターネットでもご注文ができます。裏表紙

別売部品（部品の価格や仕様は予告なく変更することがあります　その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください）

【クエン酸】	【抗菌·消臭シート】	【抗菌気化フィルター】	【アレルバリアフィルター】	【除菌フィルター】
315円	577円	1,785円	577円	472円
(本体価格 300円)	(本体価格 550円)	(本体価格 1,700円)	(本体価格 550円)	(本体価格 450円)
商品コード：H010010	商品コード：H090010	商品コード：H060509	商品コード：H060353	商品コード：H060352

保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談、別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください

保証について

●保証書(裏表紙に付いています) 裏表紙

○保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
○内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間は、お買い上げ日から本体3年間です。なお、消耗部品(抗菌気化フィルター、抗菌·消臭シート、アレルバリアフィルター、除菌フィルター)の取り替えは、保証期間中でも有料となります。他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本加湿器の補修用性能部品は、製造打切り後9年保有しています。

修理を依頼されるときは

○「故障かな？と思ったら」に従ってお調べください。19ページ 20ページ

○処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのときは、右の事項をご連絡ください。

品　　名：ダイニチ加湿器
型　　名：本体背面に表示
お買い上げ日：保証書に記載
故障の症状：エラー表示など、できるだけ詳しく

●保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

●修理料金

技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

お守りください

○修理などで加湿器を運搬するときは、必ずタンク・トレイ内の水を捨ててください。
運搬の途中で水がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

保証とアフターサービス

ご相談窓口（使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談、別売部品の購入など）

お客様ご相談窓口（通話料無料）
TEL 0120-468-110
FAX 0120-468-220
＜受付時間＞
11月～ 1月 9：00～19：00
（土は～17：00、日・祝日・年末年始は休み）
2月～10月 9：00～12：00、13：00～17：00
（土・日・祝日は休み）
※型名（本体背面に表示）をご確認のうえ、ご連絡ください。

インターネットからのお問い合わせ
＜24時間受付＞
インターネット　ダイニチ工業　検索
「お客様サポート/お問い合わせ」
http://www.dainichi-net.co.jp/support/

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1. ダイニチ工業株式会社（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①修理やその確認業務を委託する場合
   ②法令の定める規定に基づく場合
3. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。

加湿器保証書

型　　名	ご購入機種に○を付けてください		(お客様) お名前 様
	HD-5010	HD-7010	
製造番号			ご住所 〒
お買い上げ日	年　月　日		
販売店名・住所・電話番号			電話番号 （　　）　ー
			保証期間（お買い上げ日から） 本体３年間

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から左記期間中故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様へお願い
お手数ですが、お名前、ご住所、電話番号をわかりやすくご記入ください。

ご販売店様へ
お買い上げ日、型名、製造番号、貴店名、住所、電話番号を必ず記入し、（記入のないときは無効になります）本書をお客様へお渡しください。

修理メモ

〈無料修理規定〉
1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障したときは、お買い上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受けるときは、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に依頼してください。
3. ご転居のときは、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときは、弊社へご相談ください。
5. 保証期間内でも次のときは、有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤り、不当な修理・改造による故障や損傷
   (ロ) お買い上げ後の移動・落下などによる本体の故障や損傷、およびタンク、タンクキャップの損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）、ほこりなどによる故障や損傷
   (ニ) 消耗部品（抗菌気化フィルター、抗菌･消臭シート、アレルバリアフィルター、除菌フィルター）の取り替え
   (ホ) 定期点検の費用
   (ヘ) 一般家庭用以外（たとえば、業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載）に使用されたときの故障や損傷
   (ト) 本書の提示がないとき
   (チ) 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のないとき、あるいは字句を書き替えられたとき
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書（22 ページ）をご覧ください。

〒950-1295 新潟市南区北田中 780-6
お客様ご相談窓口 TEL 0120-468-110
ホームページ　http://www.dainichi-net.co.jp/

HD-5010・10・07・0,000・1